

適性検査Ⅰ 出題のねらい（平成29年2月3日実施）

問1 神奈川県内の鉄道や日本丸（初代）を題材に、目的地までの所要時間を考えたり、日本丸（初代）の位置を地図上に表したりすることを通して、主に表現コミュニケーション力及び社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- （1） 図から、鉄道を乗り継いだときの所要時間を読み取り、目的地までにかかる最も短い所要時間を求める。
- （2） メモを手がかりに、日本丸（初代）の位置を求め、地図上に表現する。

問2 テニスクラブでの活動を題材に、2つの情報を関連付けて読み取ったり、試合の組み合わせを考えたりすることを通して、主に表現コミュニケーション力及び科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- （1） 表から、テニスクラブでのサービスの成功率と試合結果を関連付けて考え、読み取れる内容としてあてはまるものを選択する。
- （2） メモの内容を整理し、試合の順番と組み合わせを確定するために必要な情報を選択した上で、各試合の選手の正しい組み合わせを選択する。

問3 反復横とびと50m走を題材に、規則的に数えることや、道のりと時間の関係について考えることを通して、表現コミュニケーション力、科学・論理的思考力、社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- （1） 反復横とびの測定方法を理解し、左側のラインを越すか踏んだ回数を求める。
- （2） 50m走の結果を理解し、図と会話文を手がかりに、2回目の結果の理由を文で具体的に説明する。

問4 平面図形や空間図形を題材に、平面や立体の見方について考えることを通して、主に表現コミュニケーション力及び科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- （1） 例題と会話文を読み取り、どの番号の正方形を切り抜いたときに長方形がしきつめられるかを考え、あてはまるものを選択する。
- （2） 図から、積み木の置き方を考え、組み立てた立方体の左側から見た様子を図で表現する。

適性検査Ⅱ 出題のねらい（平成29年2月3日実施）

問1 運動やスポーツを題材に、運動やスポーツを行っていく習慣を身に付けるための条件を読み取り、自分の考えを表現することを通して、主に表現コミュニケーション力及び社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 資料から、運動やスポーツをする意義などを読み取り、あてはまるものを選択する。
- (2) 資料やグラフから、運動習慣を身に付けるために大切なことや運動・スポーツを行った理由を理解し、その内容を踏まえて、30年後に具体的にどのような実践を行うことが望ましいか、自分の考えをまとめ、適切に文章で表現する。

問2 金属を題材に、体積と重さの関係を考えることを通して、主に科学・論理的思考力の基本的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と資料から、水の入ったビーカーと鉄の立方体2個がすり合ったときの、水の体積を求める。
- (2) 資料と実験から、それぞれの立体の 1 cm^3 あたりの重さを考え、あてはまる金属名を選択する。

問3 ロボットへのプログラミングを題材に、ロボットが動いた時間や道すじを考えることを通して、主に科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) ロボットへの命令とロボットが実際に動いた様子の図を読み取り、動きはじめてから止まるまでの時間を求める。
- (2) ロボットへの命令の図から、ロボットが通った道すじを考え、あてはまるものを選択する。

問4 巣箱を題材に、材料の板の組み合わせ方や巣箱の容積を考えることを通して、主に科学・論理的思考力及び社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 図から、組み立てたときの板の表と裏を考え、あてはまるものを選択する。
- (2) 図から、組み立てたときの寸法を読み取り、巣箱の容積を求める。

グループ活動による検査 出題のねらい（平成29年2月3日実施）

与えられた課題について、自分の意見をまとめた後、グループでの話し合いを行い、集団の中での人間関係構築力の基礎的な力と中等教育学校で学ぼうとする意欲や目的意識をみることをねらいとした。

課題 1 県立中等教育学校での、人との交流を深める取り組みの1つとして「あいさつ運動」のための準備の場面を設定する。この取り組みについて、中等教育学校の6年間で、「どのように人と交流したいか」と、学年の係として、すべての学年で行う「あいさつ運動をどのような内容にすればよいか」について、自分の考えをまとめ、それぞれの発表をもとにグループで話し合って1つの案をつくる。

課題 2 県立中等教育学校での、人との交流を深める取り組みの1つとして「あいさつ運動」のための準備の場面を設定する。この取り組みについて、中等教育学校の6年間で、「どのように人と交流したいか」と、クラスの一員として、クラスで行う「あいさつ運動をどのような内容にすればよいか」について、自分の考えをまとめ、それぞれの発表をもとにグループで話し合って1つの案をつくる。

〈参考〉

受検者を男女別に8人程度のグループに分け、相模原中等教育学校、平塚中等教育学校ともに3回の検査を実施した。

検 査	検査時間	検査課題
第1回検査	12:40～13:20	課題 1
第2回検査	13:55～14:35	課題 1
第3回検査	15:10～15:50	課題 2